常任委員会の審査

各常任委員会を開き、本会議で付託された議案、７年度各会計決算および請願の審査を行いました。審査結果は各常任委員会の委員長が、30日の本会議において報告しました。

総務常任委員会

８年度一般会計補正予算など議案３件、７年度一般会計歳入歳出決算など認定６件を審査しました。審査の過程で、社会資本整備総合交付金の国費の配分率および交付金減額による各事業への影響などについて質疑がありましたが、いずれも可決・認定すべきものと決まりました。

【議案第110号】
令和８年度盛岡市一般会計補正予算（第３号）

問　社会資本整備総合交付金について、国から配分される割合と、減額分の各事業への影響は。

答　当初予算26億9884万円に対し、国からは19億3840万円交付され、全体の配分率は71.8％である。交付金で減額となった分は、起債で充当するか一般財源を調整しながら対応する。事業完了目標年度が後ろ倒しになる可能性もあるが、事業ごとに影響が少なくなるように対応していく。

【認定第１号】
令和７年度盛岡市一般会計歳入歳出決算について

問　家計応援給付金事業が８年度に繰り越して４月から給付を開始しているが、給付の実施状況と給付率、今後の物価高騰対策は。

答　４月28日にお知らせを送付し、５月22日から毎週金曜日に振り込みを続け、９月３日に振り込みを終えた。支給率は97％、支給総額13億3063万円となった。今後の対策は、国の動向を踏まえつつ、本市の過去の支援策を検証しながら必要な支援を行っていく。

◆用語解説
社会資本整備総合交付金
活力創出、水の安全・安心、市街地整備、地域住宅支援などの施策目的の実現に向け、地方公共団体が作成する社会資本総合整備計画に基づき、目標実現のための基幹的な社会資本整備のほか、関連する社会資本整備やソフト事業を総合的・一体的に整備するための国からの交付金のこと。
（市ホームページより作成）



教育福祉常任委員会

８年度一般会計補正予算など議案11件、７年度一般会計歳入歳出決算など認定５件を審査しました。審査の過程で、老人福祉施設整備助成事業などについて質疑がありましたが、いずれも可決・認定すべきものと決まりました。また、請願１件を審査し、不採択とすべきものと決まりました。

【議案第110号】
令和８年度盛岡市一般会計補正予算（第３号）

問　老人福祉施設整備助成事業について、国の交付金を活用して高齢者施設などの防災のための施設整備を補助しているが、市は各施設の中長期的な修繕計画の策定状況を把握しているのか。

答　第９期や第10期介護保険事業計画の中で、施設の整備の必要性を調査しており、各施設の状況を確認した上で、必要な修繕など計画的な施設整備の推進を図っている。

【認定第１号】
令和７年度盛岡市一般会計歳入歳出決算について

問　市の重層的支援体制整備事業におけるコミュニティソーシャルワーカーの役割に対する認識は。

答　対象者の支援において、多機関の連携・協働を統括する非常に重要な役割を担っているものと認識している。コミュニティソーシャルワーカーが先頭に立ち、関係機関の顔の見える関係を構築し、複雑化・複合化した事例に取り組んできており、これまで培った連携体制を維持・強化していく。

産業環境常任委員会

８年度一般会計補正予算など議案７件、７年度一般会計歳入歳出決算など認定４件を審査しました。審査の過程で、旧市営野球場の解体工事の今後の見通しなどについて質疑がありましたが、いずれも可決・認定すべきものと決まりました。また、請願１件を審査し、採択すべきものと決まりました。

【議案第110号】
令和８年度盛岡市一般会計補正予算（第３号）

問　観光客誘致宣伝事業について、冬季着地型旅行商品の造成に係る候補者を公募型プロポーザルにより実施するとのことだが、事業の実施スケジュールは。

答　冬季着地型旅行商品については、販売実績や造成実績のある地元の会社を想定しており、補正予算の成立後、速やかに募集を開始し、候補事業者の選定を行う。できる限り年内には商品を造成し、販売に着手したいと考えている。

【認定第１号】
令和７年度盛岡市一般会計歳入歳出決算について

問　旧盛岡市営野球場解体事業について、約2000万円が計上されているが、現状と今後の見通し、跡地の利用は。

答　８年度から解体工事を行う予定として準備を進めており、10月に一般競争入札を行う予定である。事業者の決定後は、９年度にかけて２カ年で解体工事を行う予定としている。解体後の跡地については、地域住民の意見を聞きながら、今後検討を進める。



旧市営野球場の今後の見通し

建設常任委員会

８年度一般会計補正予算など議案７件、７年度一般会計歳入歳出決算など認定４件を審査しました。審査の過程で、倒木の危険性がある公園内の樹木の調査実施状況や公共交通の課題解決に向けた取り組みなどについて質疑がありましたが、いずれも可決・認定すべきものと決まりました。

【議案第114・115号】
損害賠償事件に係る和解及びこれに伴う損害賠償の額を定めることについて

問　公園での倒木の危険性の調査実施状況と今後の管理体制は。

答　愛宕山記念公園周辺の調査を実施し、倒木の危険性がある木を10本ほど確認している。そのうち６本については伐採が完了しており、残る４本についても８年10月中に伐採作業を実施する予定である。また、大きな木のある公園については重点的に確認を行い、危険箇所については、枝払いなど事前に対応していきたい。

【認定第１号】
令和７年度盛岡市一般会計歳入歳出決算について

問　地域の実情に合わせた公共交通を整備するため、住民の意見を集約する機会を設ける予定は。

答　現時点で地域住民から要望を受け付ける総合的な窓口は設けていないが、担当部署ではバス路線の新設や増設について個別に要望を受けている。受けた要望については、関係部署と協議し、要望のあったバス路線の需要などを見定めながら、バス事業者に相談を行っている。



議会活動レポート

各委員会が行政視察などを実施

産業環境常任委員会

７月13日から15日まで視察を行いました。埼玉県入間市では、ＥＶ（電気自動車）活用再生可能エネルギーマネジメント事業における太陽光発電設備およびＥＶ導入に至る経緯や導入にあたっての課題などについて、埼玉県深谷市では、アグリテック集積戦略の策定経緯やアグリテック企業と農業課題とのマッチング支援の内容と成果などについて、埼玉県川越市では、小江戸川越ブランドの確立とプロモーションの手法や観光客の回遊性向上の施策などについて、それぞれ説明を受けました。



アグリテック集積戦略を調査

教育福祉常任委員会

７月14日から16日まで視察を行いました。東京都荒川区では、中央図書館および吉村昭（あきら）記念文学館、ゆいの森子どもひろばの３つの機能を融合した施設であるゆいの森あらかわについて、埼玉県川越市では、５歳児健康診査の実施体制と健康診査後のフォローアップ体制などについて、埼玉県川口市では、部活動の地域展開に向けた部活動改革の方向性と推進の体制などについて、川崎市では、保育・子育て総合支援センターと産後ケア事業の概要などについて、千葉県柏市では、医療と介護が連携した在宅医療の取り組みを含めた柏プロジェクトの推進体制などについて、それぞれ説明を受けました。



５歳児健康診査を視察

建設常任委員会

７月14日から16日まで視察を行いました。北九州市では、ＡＩを活用した配水管更新計画とドローンを活用した水管橋点検計画について、熊本市では、熊本地震からの上下水道の復旧、災害に強く持続可能な上下水道システムの構築および災害時における避難所の生活環境向上に向けたマンホールトイレ整備計画について、福岡市では、水道ＤＸの推進事例として、人工衛星やＩｏＴセンサを活用した漏水調査やＡＩを活用した水道管劣化予測技術などについて、それぞれ説明を受けました。



水道DXの推進を調査

総務常任委員会

７月15日から17日まで視察を行いました。福島県郡山市では、ダイバーシティ推進課内へのＺ世代活躍係設置の経緯やＺ世代・地域団体などへのニーズ聞き取りやマッチング手法について、埼玉県越谷市では、災害時の避難所のトイレ不足解消のためのトイレトレーラー導入の経緯と災害時の運用計画について、埼玉県深谷市では、書かない窓口の導入の経緯や導入後の変化、市民の満足度調査などについて、それぞれ説明を受けました。



トイレトレーラーを視察

議会広報委員会

７月30日から31日まで視察を行いました。仙台市では、ＹｏｕＴｕｂｅを活用した議会中継や市議会独自のＳＮＳによる情報発信の運用としてＸおよびＩｎｓｔａｇｒａｍについて、福島県では、ＹｏｕＴｕｂｅを活用した議会中継や市議会独自のＳＮＳによる情報発信の運用としてＸおよびＦａｃｅｂｏｏｋについて、福島県郡山市ではＹｏｕＴｕｂｅを活用した議会中継に加えて、発言をリアルタイムで文字表示するシステムや手話通訳の導入および市議会だよりについて、それぞれ説明を受けました。



議会広報を調査

雇用対策特別委員会

７月９日に勉強会を行い、盛岡公共職業安定所次長の佐藤功氏と事業所専門相談員の山内俊雄氏を参考人としてお呼びし、盛岡地域の雇用情勢などについて説明を受けました。また、８月20日に勉強会を行い、岩手県中小企業家同友会事務局長の菊田哲（さとる）氏を参考人としてお呼びし、盛岡地域の中小企業における雇用の現状と課題について説明を受けた後、企業への有効な人材育成支援の在り方について、意見交換を行いました。

こどもいきいき特別委員会

８月19日に宮城県石巻市を視察しました。石巻市子どもセンターらいつの整備にあたり子どもの意見を取り入れたことや、よりよい施設運営のため「子どもセンター運営会議」に委員として子どもが参加していること、子どもが主体となって提案・企画する「子ども企画」などの「子ども参加事業」といった子どもセンターで展開している事業などについて、説明を受けました。

議会制度検討委員会

議会の在り方や諸課題などについての検証および見直しに取り組むため、議会制度検討委員会を７年９月30日に設置し、これまで検証を重ねた結果、議員定数については、現行の38人から１人削減し、37人とすることが適当であるとの結論に至り、議長に報告を行いました。議員報酬や議会基本条例については、引き続き検証を行っていきます。



議員定数を削減

スポーツ振興議員連盟

８月10日に盛岡市・文京区・うるま市の友好三都市野球交流事業として、東京ドームで行われた各都市の小学生選抜チームによる交流戦を観戦し、選手たちの熱戦に声援を送りました。

山崎智樹議員に対する議員辞職勧告決議（全文）

山崎智樹議員は、令和５年度の政務活動費収支報告書に係る広報費に関し、詐欺等の疑いにより警察の捜査を受け、事件として検察に送致された。また、本市が被害届を提出し、議員が捜査の対象となったことは、本市議会にとって極めて異例の事態である。

この事件について、本市議会は、山崎智樹議員が市民及び議会に対して説明する機会として、令和８年８月24日、全員協議会を開催した。山崎智樹議員は、収支報告書に実際の支出とは異なる内容を記載して市に提出した事実を認め、政務活動費の返還を免れる事態を生じさせたとして陳謝したが、経緯や事実関係についての具体的な説明はなされず、議員としての進退についても、辞職しない意向を明確に表明した。

事件は現在捜査中であるが、市民の負託を受けた公職としての説明責任は自ら果たすべきものである。また、盛岡市議会基本条例第３条第３号「自らの議会活動について、市民への説明責任を果たすよう努めること。」という活動原則に反している。

こうした一連の行為は、議会の名誉と品位に重大な影響を及ぼし、市民の信頼を著しく損なうという事態を招いている。山崎智樹議員の政治的責任は極めて重いものであり、本市議会はこの事態を看過することができない。

議員の進退は、本来、本人が自ら判断すべきものであるが、盛岡市議会は、山崎智樹議員に対し、市民に対する説明責任を果たすとともに、速やかに議員の職を辞するよう強く勧告する。

以上、決議する。

令和８年９月８日

盛 岡 市 議 会